

山口県産農産品からつくる新医薬品 -山口から世界へ-

わたしたちは こんな企業(団体)です

山口県の農産品の中から健康に有用な有効成分の抽出と科学的な検証を行うことで、山口大学発の新医薬品の開発を目標とする学生プロジェクトです。現在はJA山口県小野茶業組合をはじめ、宇部市農業振興課、萩市物産協会、広島都市学園大学と共同研究を行っています。農産物を題材にした研究によりSDGsに適合した創薬開発を産学官連携で行っています。



研究メンバーと活動の様子

わたしたちの SDGs推進プロジェクト



プロジェクトの様子



山口県産の青パパイヤに口腔がん抑制作用があることを発見し、医薬品の実用化へ向けた研究を進めています。これらの研究成果はYU-COH2024やICNIM2024をはじめとする国際学会で発表を行い、積極的に山口県産の農産品の有用性について世界へ発信しております。また、宇部市内の中高生にも学生研究員として研究に参加して頂いている他、市内各所で子ども科学教室を実施することで子ども達に科学の楽しさを伝える活動も行っています。これまでに約800名の参加がありました。

プロジェクトの実績

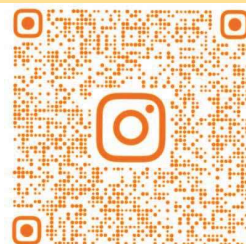


本年は宇部市の特産品である山口茶(小野茶)の抗菌性が他の産地の茶葉と比べて優れていることを発見しました。また、その効能を活かした製品である山口茶石けん“やまぐつ茶”を開発し、実証事業についても進めております。この他、国際学会YU-COH2024では若手研究者奨励賞を受賞しました。

今後の予定



自見はなこ地方創生大臣へ
研究をご紹介します



@YAMAGUCHI_SOYAKU

今後もJA山口県をはじめ、市内・県内の生産者の方々と産学官連携により、山口県の農産品の知られざる有用性について研究を続けて参ります。活動は随時Instagramにて配信していますのでQRコードより是非ご覧下さい。